

はじめに



青森県知事 三村 申吾

子どもたちは、地域の未来を担う財（たから）であり、希望です。そして、その子どもたちを産み、育て、成長させることは、未来を創り上げる大切な営みです。であればこそ、次代を担う子どもたちが、笑顔にあふれのびのびと心豊かに、たくましく、思いやりを持ったやさしい子どもに育つように支えていくことは、大人に課せられた責務なのではないでしょうか。

県では、青森の豊かな自然と文化の中で家族や地域の人達が温かく見守りながら、社会全体で子育てを支え合い、県民が結婚の希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられる「最適の地」、そして、子どもたち誰もが将来に希望を持って健やかに成長できる青森県を目指しています。

これまで青森県次世代育成支援行動計画に基づき、子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりを推進するとともに、子どもを中心に据えた各種施策に積極的に取り組んできた結果、子育てしやすい環境は充実したものとなりつつありますが、これからの歩みを止めることなく、果敢にチャレンジしていく必要があります。

この度の新たな青森県次世代育成支援行動計画「のびのびあおもり子育てプラン」（後期計画）では、前期計画の基本理念や基本目標などは踏襲しつつ、これまでの取組の成果や課題を踏まえ、社会的養育の充実をはじめ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供するための体制づくりをさらに推進していくこととしています。

今後、当プランに沿って、青森県の未来を担う子どもたちが、この青森で生まれ、希望を持って成長し、その希望をふるさと青森の地で実現できるよう、次代を担う子どもが健やかに生まれ育つことを総合的に支援する社会づくりに県民の皆様と共に取り組んでまいりますので、皆様の御協力と御参加をお願いいたします。

令和2年3月